



広報 なかわだ

第 377号

4 月の予定

受難の主日	4 月 17 日 (日)
信徒の会	4 月 17 日 (日)
復活徹夜祭・洗礼式	4 月 23 日 (土)
復活の主日	4 月 24 日 (日)



Resurrection of Christ (Noel Coypel, 1700)

2011年 4月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23 年 4 月 3 日

イエス・キリストの心を心とせよ

主任司祭 小林 陽一



今年の聖週間の第一日目、受難の主日のミサの第一朗読は、「苦しむ主の僕の歌」が記されています。「私は打とうとする者には背中をまかせ、ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。顔を隠さずに、あざけりとつばを受けた。主なる神が助けてくださるから、私はそれをあざけりと思わない。」(イザヤ書 50章6～7節) 苦しむ主の僕は、信者の私たちが傲慢な態度をとることのないように、神に対して、謙遜に振る舞いました。

同じ受難の主日のミサの第二朗読には、「イエス・キリストの心を心とするように」と戒めて、「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、しもべの身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで、従順でした。」(フィリッピ書 2章6～8節)と記されています。

このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになった、とパウロは、同じフィリッピ書2章9節に記しております。十字架につけられたイエス様は、真にへりくだって、謙遜であった、とパウロは言おうと致しました。

教会は、聖週間の典礼、4月21日の聖木曜日、4月22日の聖金曜日、4月23日の聖土曜日のそれぞれの典礼に、キリストが謙遜であったことを事細かに書き留めております。このことに留意して、万難を排して、これらの典礼に出席するよう努めましょう。

2月27日(日)のミサにて入門式を受けた二人の求道者は、3月13日(日)に、一人の方は中和田教会のミサにて、もう一人の方は、藤沢教会にて入信志願式(洗礼志願式)を受けました。二人は、4月23日の聖土曜日・復活徹夜祭にて入信の秘跡(洗礼、堅信、聖体の秘跡)を受けるため、心の準備をしております。二人が洗礼、堅信、聖体の秘跡を受けられるよう、お祈りをお願い致します。二人が無事に入信の秘跡を受けることができるように、教会共同体の私たちに「求道者と共に信仰の道を歩む」覚悟が求められています。それは、出来るだけ求道者と交わり、求道者と共に祈り、求道者を育て、支える生き方を、私たちが選ぶことでもあります。求道者と共に歩むことのできる恵みを主に願いましょう。

■ 3月27日「子どもと共に捧げるミサ」：司祭説教のお祈りから

- 東北関東大震災・津波で亡くなられた方々が、永遠の安息に入られますように
- 行方不明の方々が、早くみつかりますように
- 避難している方々に、食べ物、衣類、毛布、医薬品などが少しでも早く届けられますように



みんなで、いっしょうけんめい祈りましょう

レジオ・マリエの集会在1000回を迎えました



中和田教会献堂間もない1975年5月、宮下禮造神父様によって始められた中和田教会のレジオ・マリエが、2011年3月11日の集会をもって第1000回を迎えました。主に導かれ、マリア様に守られながら、マリア様と共に歩んできた35年でした。

当初から現在に至るまで、初金ミサがある第1金曜日を除く毎週金曜日午前に集会がもたれてきました。その間、指導司祭も宮下神父様、山崎神父様、グルニエ神父様、高野神父様、そして今の小林神父様と変わりましたが、すべての神父様方が指導司祭として常に集会にご出席下さり、講話とご指導をいただくというお恵みに与って参りました。

メンバーも、この長い間には、帰天された方々、転出して行かれた方々など、移動もありましたが、途絶えることなく続けてこられましたことを感慨深く振り返っています。

これも、賛助会員として祈りをもって支えて下さった方々や、共同体の皆様のご理解とお支えがあったからこそと、深く感謝いたしております。

かつては山手地区の、そして現在は横浜地区の1支部として、近隣教会の会員の皆様と共に祈り、奉仕しながら、レジオ・マリエの道を歩ませて頂いております。

現在の私たちの望みは、新たに会員として、御国のために共に祈り、働くお仲間が増えることです。ご病気や困難のなかにある人々に心を寄せ、人々や教会のために奉仕するには祈りが大きな力になることを思い、ぜひレジオ・マリエの集いにご参加下さいますようお願いをさせていただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(レジオ・マリエ一同)

信徒の会：『介護』をテーマに、分ち合いました(3/20)

「信徒の会」第2回目が3月20日のミサ後に開催され、22名が参加、和気藹々のうちにあっという間に一時間半の時間が経ってしまいました。

今回の話題は「介護」にしばり、現在区内のあるグループホームでお働きの楠田さんと、通所施設であるケアプラザで働かれたことのある中島さんから、それぞれの施設に関して、その内容とケアの実際、医療関係のこと、行政による施設監査の実際や費用など、またそういった施設では利用者の方々はどうのような楽しみ方をしておられるのか、などについてお話を伺い、その後は、質問や体験談などで分かち合いが盛り上がりしました。

そして分かち合いでは、そうした状況での家族の関わり方や介護保険について、体験や知識の交換が行われました。

例えば、介護されている方は、一緒にお話しても、一緒にイベントに参加しても、直ぐに忘れてしまう場合も多いが、その場その場で楽しく生き生き過ごしたことはその方にとって十分大きな意味があることであり、介護者や家族は決してがっかりしたりする必要はない、というアドバイスもありました。

「うちの娘にも聞かせておきたい話です」とか、ひとりの男性の方からは「ボランティアに登録してあるのだけど、頼みが来ない」などといった勿体ないお話も出るなか、楠田さんや中島さんから「ボランティアを是非してみてください。少ない職員で、どこもたいへん忙しいのが現状です。ボランティアをすることで、職員さんの手が利用者の方によりよく届きます。ボランティアをしたい時は、いずみ中央駅構内にある泉区社会福祉協議会の中の『ふれあいホーム』に行けば、紹介して下さいますよ」との示唆をいただきました。

参加の皆さまからは、こういう問題はこれ一回で終わりにしないで、私たちのこれからの生き方、課題などをプラス指向で捉えていけるような話し合いを、もっと進めていきたいですね、とのご希望が出されました。従って、あと何回かはこのテーマで、切り口や視点を変えながら続けていきたいと思っています。

「介護」や「高齢化」の話題は、とかく暗く捉えられがちです。このようなお話し合い、分かち合いを通して、少しでも互いに支え合いながら、そして「介護する側」と「介護される側」という区分けも取り払って、共に明るく信仰の道を歩むことが出来ることを目指したいと思っています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

(小野 雅彦、 岩崎好愛)



なかわだの 声



東北関東大地震の発生直後は、主人も娘も携帯が繋がらずに音信不通、娘の夫は出張先の矢板に居るという状態だったので、私は孫娘を保育園に迎えに行き、その晩は娘の家に泊まって、孫娘と一緒に長いお祈りをしました。

「どうぞ神さま、今ご飯も食べられないで、泣いている子ども達が大勢います。早くその子ども達を助けてあげて下さい」

このお祈りは、心からの本当のお祈りでした。

地震で怖い思いをした4歳の孫娘は、保育園では他の子ども達が泣いても泣かなかったそうですが、私が

「パパもママも今日おうちに帰れなかったら、おばあちゃんと一緒に待っていきましょうね」と言った途端、孫娘は感極まって大泣きするのでした。

(おばあちゃん信徒)



教会からのお知らせ（訃報）

3月7日に、

マリア イグナチア 佐藤 和子 様が
帰天されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

※ ご存知の方も多いと思いますが、
宮下禮造神父様が主任司祭として
中和田教会で司牧しておられた時期に、
佐藤和子様は宮下神父様のお世話をされながら、
中和田教会で働いておられ、たいへんお世話になりました。



湘南キリスト教セミナー＜予告＞

6月11日(土)13:30～15:30に、鍛冶ヶ谷教会にて
第20回 湘南キリスト教セミナーが開催されます。

- ・講師： 小野恭世(イエズス孝女会シスター)
- ・テーマ： 愛の伝わるかわりかた

是非、今からご予約にお加え下さい！

岩淵委員長の コラム



■ このたびの東北関東大震災により被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

中和田教会でもできる限りのことをしたいと思いますので、皆様のお祈りを宜しくお願い致します。また義援金の箱を置いておりますが、既に多くの方々から募金をお寄せ頂きました。誠に有り難うございます。今しばらく置かせて頂きますので、ご支援のほどあらためてお願い申し上げます。

■ 3月の委員会では、各グループから現状と今後の活動方針についてご報告を頂きました。各グループとも限られたメンバーの方々で工夫しながら多彩な活動をして下さっています。グループ制もしっかりと根付いて、この教会の活動の源泉となっていることを感じます。ただ、メンバーが不足して苦勞されている点多々ございます。どうか新しい方々の御参加を心からお願い申し上げます。

一方では新たに発足した信徒の会も、小野会長、岩崎副会長のご尽力と多くの方々の御参加で立ち上がってきました。グループ制による活動と、これに横串を刺す信徒の会の活動がハーモニーを持って展開されていくことが中和田教会の発展につながるの間違いありません。皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

■ 宣教グループの方々のご努力下、中高生をはじめとする若い人達の活動が立ち上がり始めています。若い方が元気に活動して下さいと、教会の雰囲気も明るくなりますし、活性化された教会として発展していけると期待しています。心からエールを送りたいと思います。皆様の暖かいお励ましを宜しくお願い致します。

典礼こよみ(四月)

日	曜		ミサ・勉強会	備考
1	金		初金ミサ(10時)	十字架の道行(9:30) 掃除
2	土		主日ミサ(18時)	
3	日	四旬節第4主日	主日ミサ(9時)	
8	金			十字架の道行(9:30)
9	土		主日ミサ(18時)	掃除
10	日	四旬節第5主日	主日ミサ(9時) 共同回心式	山口道孝師
15	金			十字架の道行(9:30)
16	土			掃除
17	日	受難の主日(枝の主日)	主日ミサ(19時)	
21	木	聖木曜日	ミサ(19時)	
22	金	聖金曜日	祭儀(19時)	
23	土	聖土曜日・復活徹夜祭	ミサ(19時)	入信の秘跡 掃除(am)
24	日	復活の主日	子どもと共に捧げるミサ(10時)	終了後祝賀会

委員会だより

(文中敬省略)

△3月13日(日) 14名出席▽

小林神父の話

●本年度内で、聖体奉仕者の推薦をした
い。男4名、女4名の規模で考えている
《結論》この方向付けを進めることとし、
2ヵ月後を目処に具体的内容を確認定
る経緯説明。詳細略

●新しい電話機購入の件：別資料によ
る経緯説明。詳細略

●4月10日共同回心式

●共同回心式の詳細：内容は広報なか
わだ3月号の巻頭言に掲載の通り
出来れば回心式終了後、昼食をとり
ながら中高生と山口師との懇談の機
会としたいがどうか？(宣教委員)

●本件、小林神父から山口神父に打診頂
く
●受洗予定者の件

●本日のミサで紹介の通り

各Gからの体制・方針・抱負等

●宣教委員(井上、石井(悠))

●要理(保科)、一粒会(竹内)、中高
生会(石井(悠))、第5地区関連(井
上)の分担で臨む

●中高生会の立ち上げが捗々しくないと
いうことが最大の課題だが、これは石
井さん中心に強力に立ち上げていく
●中高生が現実を感じているプレッ
シャーに気を配りつつ、卓球台の設
置など、いろいろな試みをやってい
きたい(石井(悠))

●中高生会の例会は第3日曜日に開催
●堅信に関して、中学生4名が申し込
んでいるが、該当候補者は13名いる
ので、別途通知を郵送する。また、
堅信勉強会は3月27日から開始する。
●教会学校リーダー研修会が、平塚教会
で3月21日開催され、中和田からは3
名参加する。テーマは「愛が伝わるか
かわりかた」(シスター小野恭世)

●今年是要理学校のリーダーは保科さ
ん、教会委員会にはお母さん方が当
番制で出席する。また、要理学校は

森脇留美さんに特別に手伝って頂い
ている。(石井(洋))

●本年度の初聖体は、2名が確定して
いる(石井(洋))

財務委員(甲斐)

●2名の委員(甲斐、山田)と支援頂
いている方々(永島、中村、町田、谷
で運営している。
●献金の受入等の作業は日曜日に実施
また、内部対応(山田)、外部対応(甲
斐)の分担で対応している。
●本年は「月定献金」の課題に踏み込
んでいきたい

典礼委員(下村)

●典礼グループは3つの小グループを
軸に運営しており、集まりは毎月第
1日曜日に行なっている
●メンバーは、青柳、横塚、森脇(信)、
大宮、岩淵(洋)(オルガン代表)、
阿部(生花代表)

●典礼を理解してもらう為に、第5日曜日
の「典礼ミーティング」を復活したい
●葬儀マニュアルの改訂中、また福祉
グループ起案の「助け合いシステム」
に連動して、教会パンフレットの改
訂検討中

4月の聖週間、奉仕の協力を願いたい

●福祉委員(中島)
●5名(中島、楠田、山本、岩崎、松下)
で活動しており、例会は第1日曜日
メンバーが少なく活動範囲が限ら
れるので、「福祉」→「証し」への拡
大については更に検討させて欲しい

《岩淵委員長より》

●東北大地震の義援金箱を設置したが、
送る時期、送り先、金額については、
主任司祭、委員長、福祉&財務委員で
相談して決めるので、一任願いたい
●行事委員(武田(幸))

昨年引続いて、4名の地域代表を

●軸に進めていく
●直近の行事、ご復活の祝賀会はA地区
が担当する。本年も武田安光さんご一
家に、卵などご援助を頂いている。

●教会委員会として支援できることは、
どんな言って頂きたい(岩淵委員長)
●若い人たちが、いろいろなイベント
で発表する機会をつくって頂きたい
(小林神父)

総務委員(小山(恭))

●総務グループは4名体制で運営して
いく(小山(恭)、七浦、小山(利)
/岩淵(洋))
●総務グループの業務内容の説明(詳
細説明資料を配布)
●中和田教会自衛消防隊組織分担当の
2月27日付改訂版を説明
●本年度中に、信徒の住所異動に伴う
各台帳類の更新が最大の課題

広報委員(小野)

●広報グループは2名のみ(小野、岩崎)
であり、電子メールの発信で十分な
ので例会は行なっていない
●業務は、①「広報なかわだ」の紙面編集、
レイアウト、印刷 ②中和田教会ホー
ムページの更新/メンテナンスで、
いずれも月次で行なっている
①については、信徒の相互交流や分ち
合いに貢献出来る紙面づくりが目標
②については、「ありのままの中和田
教会」を外部に発信していく

営繕/建物を考える会(福島)

●考える会の方は4名で運営しており
(福島、下村、主任司祭、委員長、
例会は第4日曜日
●営繕(直近)と建設(中長期)の活
動を分けたいが、人数が少なく分け
られない。
●祭壇・会衆席の改修は、ご復活前に
終える予定
●改修請負の大川氏より、改修作業で
信徒に手伝って欲しい旨要望あり
●大宮絢子さんより

「聖歌の集い」

●が5月29日に山手教会
で開催される
●年々、参加人数が先細りになっている
ので、積極的な参加をお願いしたい
●ミサのお知らせの時間でも、案内し

て頂きたい(岩淵委員長)
●練習では、巡礼を兼ねて各教会を回っ
ている。中和田も練習会場として立候
補してよいか？→異論なし

報告事項

●電話機とテレビの購入 済み
●中庭のマリア像の塗装補修
色を全く変えない前提でお願い済み
(ベトナムの皆さんからの提案)
●新集会室の中間仕切りの取り外し
全く異論なく、実施する
●葬儀への対応

教会委員長を軸に対応することを確認

●4月のサロンは行事と重なるので中止
●戸塚教会から、川村信三神父(上智
大学文学部史学科準教授)の指導に
よる黙想会(3月27日)の案内が来
ており、別途周知する

討議事項

●スケジュールの確認 大掃除は、工
事日程との兼ね合いで調整中
●図書や集会室の管理体制について
●図書は本来は宣教グループが所轄す
べきであり、同グループで検討願
いたい(岩淵委員長)

卓球台の設置については、前述の通

●り石井(悠)さん検討
●会議室の使用希望が重複することが多
いので、予約表をつくって管理する
●4月23日に洗礼を受ける2名の方々
の為に、それぞれ色紙2枚準備して、
信徒の皆さんでお祝いの言葉を書い
て欲しい(小林神父)

委員会開催日時についての審議

●《結論》原則として教会委員会は毎月第
2日曜日のミサ後に開催しているが、
イベントと重なる以下の日取りは、前
日の土曜日(9時〜12時)に開催する
こととする。

4/10・4/9、7/10・7/9、11/13・11/12

(今回は4月9日)

以上

